

八王子市市制 100 周年記念事業

「体験学習フェスティバル八王子 2017」実施計画

名称：「体験学習フェスティバル八王子 2017」

基本メッセージ：「体験学習都市・八王子を満喫しよう!!～体験学習=学びと観光の融合」

テーマ：「自然環境」「歴史文化」「美術・工芸」「産業技術」「サイエンス」

会期：2017 年 8 月 1 日～8 月 31 日の夏休み期間を中心に

会場：八王子全域の文化観光交流拠点と社会教育拠点

2017 年 3 月 24 日

「体験学習フェスティバル八王子 2017」実行委員会

【1】本事業の開催目的

八王子市では、豊かな自然環境と歴史文化環境と産業・学術研究環境を生かした、多様多彩な参加体験型の社会教育活動や市民交流事業が数多く推進されている。この新しい「体験学習」潮流を、八王子の持続可能な発展の重要なパワーとして積極的に生かし、八王子を愛する市民エネルギーの重要な資源として持続させると同時に、交流人口拡大に向けた戦略的な産業力として育成していくことが重要である。

本事業は、八王子市が有する多様多彩な「体験学習」資源を、産官学・市民協働の力でより積極的に「見える化」し、八王子市を「日本を代表する体験学習都市」として育成させていく為の戦略的事業と位置づけ、市制 100 周年事業の中核的プログラムとして推進する。

基本メッセージ 「体験学習都市・八王子を満喫しよう!!」

【2】本事業の開催コンセプト

『体験学習＝学びと観光の融合』

新たな「体験学習」プログラムが、参加者の能動的な参加体験と自発的（内発的）な学びの心を誘発する新たな交流メソッドとして大きな期待と可能性を集めている。その魅力は、「教育的価値」と「観光的価値」を積極的に融合させ、新たな「社会的価値」や「産業的価値」に結びつけている事にある。

本事業は、八王子市域で多様多彩に展開されている「体験学習」プログラムの推進主体が連帯して、「体験学習都市」八王子の潜在パワーを内外に強烈にアピールすると同時に、より多くの市民・都民にその魅力を「見える化」し「我がコト化」する為の特別な「場」と「機会」を、『体験学習＝学びと観光の融合』を合言葉にして、連帯して構築する。

【3】本事業のテーマ構成

八王子が有する「体験学習」プログラムの多様性の魅力を生かしながら、より多くの市民に積極的な参加体験を誘発するために、本事業を「自然環境」「歴史文化」「美術・工芸」「産業技術」「サイエンス」の5つのテーマで編成し、その魅力をアピールする。

5つのテーマごとに、参加プログラム主体の裾野を広げると同時に、参加主体同士の連帯を深め、相互のプログラムスキルの向上と効果的な開催スケジュール編成を生み出すテーマ推進委員会の活動を組成する。テーマごとに、グループ・リーダーを設けて、テーマ内部調整とテーマ間連携及び、全体調整活動に挑戦していただく。

自然環境

高尾山や浅川をはじめ、八王子の豊かな自然環境(山・森・川・丘・里)や各種公園を舞台に、自然観察や環境教育等の「体験学習」プログラムが多彩に展開されている。本テーマでの活動では、八王子市民だけでなく多くの都民参加を実現しているプログラム群である。

グループ・リーダーは、「東京都高尾ビジターセンター」の村上友和解説員。

歴史文化

滝山城や八王子城などの戦国時代の城郭遺跡や、江戸期の宿場駅としての街機能、近代の繊維産業都市としての発展や、戦後の学園都市やニュータウン開発など、多様に累積・積層された歴史文化を活かしたプログラム群である。

グループ・リーダーは、「八王子城跡三ツ鱗会」の金子信一理事長。

美術・工芸

八王子を代表する「市立夢美術館」「村内美術館」「東京富士美術館」を舞台とする参加体験プログラムは勿論のこと、市民レベルの工芸活動や美術系大学関係者によるアート活動などの、幅広いジャンルの活動を活かしたプログラム群である。

グループ・リーダーは、「東京富士美術館」の、白根敏昭事務局主事。

産業技術

八王子に立地する産業活動は、最先端のICT産業から精密機械工業、市民の生活を支える生活文化サービス産業や都内最大の生産出荷額を誇る農業まで多彩である。近年話題になっている企業ミュージアム活動や産業観光活動を活かしたプログラム群である。

グループ・リーダーは、「オリンパス技術歴史館」の松井忠彦副館長。

サイエンス

八王子市立科学館を舞台にしたサイエンス・プログラムの展開は勿論のこと、八王子に立地する多くの理工系大学が自主的に展開する地域貢献型のサイエンス・プログラムの評価は高い。特に、夏休みという最高の舞台を活かしたプログラム群である。

グループ・リーダーは、「八王子市立こども科学館」の、叶 清館長。

【4】全体事業構成とスケジュール編成

本事業は、2017年8月を中心とする夏休み期間に「プログラム推進月間」を設け、多様多彩な体験学習プログラムを集中的に開催実施する。その前段では、オープニングイベントとして、開会式を含む「総合情報展」を中心市街地で展開し、後段では、10月開催を目処にシンポジウム形式の「総括会議」を展開し、本事業のレガシー構築を展望する。

① 「総合情報展」

「体験学習フェスティバル八王子 2017」のスタートアップを、ライブ感を持って演出するための事業を「総合情報展」として構築し、集客力の高いJR八王子駅周辺で開催する。本事業では、「テーマ別の情報展示」と「ワークショップ型のデモ展示」を組成し、多くの市民が「体験学習フェスティバル八王子」への期待感を持てるような情報発信事業とする。

また、本事業のスタートを切る「開会式」イベントを戦略的に織り込み、プログラム推進主体と市民が一体で盛り上げの場を構築する。又、より多くのメディアに「体験学習フェスティバル八王子」のスタートを情報発信をして頂く特別な場として演出する。

(現時点では、セレオ八王子2階のイベント空間で、7月30日(日曜日)と31日(月曜日)の二日間の開催を想定している。)



<写真：すべてセレオ八王子の様子>

② 「プログラム推進月間」

「体験学習フェスティバル八王子 2017」の実施本番は、夏休みを活用した8月を集中開催月間とする。実行委員会に結集した体験学習プログラム団体の自主自律的なプログラム推進を基本とし、参加団体全てが独自の視点で魅力溢れるプログラム推進を展開する。それぞれのプログラム実施の日別編成や拠点構成等については、テーマ委員会を中心に調整し、深めて行くこととする。個別の体験学習プログラム推進主体は、(1)プログラム名称の確定、(2)体験学習を充実させたプログラム内容の確定、(3)プログラム実施の日時と場所の確定、(4)プログラム参加条件の確定、(5)プログラム参加申し込み先と申し込み手続きの確定、を主体的に整備し、実行委員会事務局とのコミュニケーション・ネットワーク構築を協働化させる。

実行委員会全体としては、統一した広報情報発信活動を展開し、個別プログラムの情報発信支援を行う。統一情報発信事業としては、(1)統一ポスターの制作と拠点各地での掲出、(2)テーマ別・日時別の「統一ガイドブック」の発行と普及、(3)個別プログラムと結ばれた、ネットワーク型ホームページの構築と運営、(4)パスポートやスタンプラリー等の参加促進プログラムの支援活動の展開、(5)多様なメディアとの連携を構築し、「体験学習都市八王子」に関する報道や情報特集の構築に挑戦する、(6)参加者への統一アンケートの実施と分析及び次代への継承視点の抽出、を基本活動として展開する。

又、固有の活動拠点を持たない体験学習プログラムについては、有効な開催場所の確保や、他のプログラムとのカップリング等のプログラム実現に向けた多面的な相談に、統合型事務局的功能として支援対応する。

③ 「シンポジウム方式の総括会議」

参加者アンケートの集計と分析のタイミングを活かしながら、「体験学習フェスティバル八王子 2017」事業実施の総括と次代への継承に関する議論を構築する「シンポジウム方式の総括会議」を、10月の適時適所で実施する。(開催日時と場所は、4月中に確定する)勿論、その前段としてテーマ別の総括フォーラムを開催していただき、次代への継承に関する論点整理をそれぞれで深めて頂く。(グループ・リーダーには、パネラーとしてシンポジウムに登壇していただく予定)

本総括会議は、プログラム推進主体の関係者が一堂に会する打ち上げの場としても計画し、シンポジウム開催後は、実行委員会最後の交流会として構築する。

【5】効果的な広報活動の組成

「体験学習フェスティバル八王子 2017」は夏休み一ヶ月間、八王子各地の文化観光交流拠点で、個別独自にプログラム開催されることや事業資金が極めて限定されているので、広報活動に知恵と汗をかく必要がある。個別活動においては、独自のネットワーク形成で自助努力をお願いするが、実行委員会全体としては、以下の広報活動を効果的に推進する。詳細な内容確定と実行については、広報委員会を形成し、そこが中心になって推進する。

①テーマ写真&動画の作成

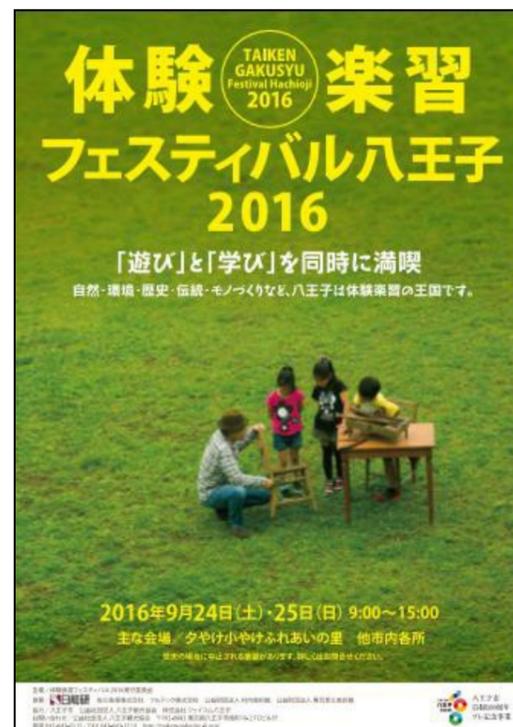
5つのテーマごとに、キービジュアルとなるテーマ写真を用意する。また、それぞれのテーマの魅力を訴求するPR動画(30秒程度)を作成し、SNS等で個別プログラム実施主体や関係者が簡単に活用できる様にする。(昨年の経験を生かして、出来るだけ早く準備する)

②統一ポスターの作成

「体験学習フェスティバル八王子 2017」の「統一ポスター」を制作して、市内各地の拠点での掲出を実施する。また、学校や社会教育拠点での掲出やプログラム実施拠点での掲出を推進する。また、交通機関等には、車内掲出や駅貼りへの協力を働きかける。(昨年の反省も踏まえて、7月の初めから掲出できる様にする)

③統一ホームページの構築

本事業の情報が、アップデートで活用できる「ホームページ」を、昨年の経験と仕組みを生かして構築する。4月の新年度スタートに合わせて、ホームページの活動を早く始動させ、「体験学習フェスティバル八王子」に結集する多くの関係者が、進行形の元気な活動情報を共有できる様にする。各プログラムの募集条件が出揃った6月中旬からは、実施告知と募集告知に集中する。また、個別プログラム主体とのネットワーク構築についても、積極的にチャレンジする。



④八王子市報への情報掲載

本事業の開催情報とプログラム情報及び、申し込み情報等については、「八王子市報」7月号に掲載される様に準備する。市報の掲載スケジュールに沿って原稿を作成し、出来れば「特集」的な扱いをお願いする。

⑤統一ガイドブックの発行

本事業の全体像を一覧でき携帯出来る、全体プログラムが編集された「統一ガイドブック」を編集し発行する。A4版8ページ程度とし、市の広報ルートと個別実施プログラム主体を基本に配布する。しかし、これだけでは限界があるので、教育委員会のご協力で夏休み前での学校配布に取り組む。また、大手新聞社の販売店にご協力をいただいて、新聞折込協力等にも積極的にアプローチする。

⑥マスコミ取材と既存メディアとの連携

プログラム参加のマスコミ各社には、当該プログラムの実施情報の発信や活動報道に注力していただくと同時に、本事業全体の事前報道や開催期間中での特集記事及びシンポジウム開催などの報道協力をお願いする。また、八王子関係機関の情報発信ルートにも、積極的に本事業の関連情報が掲載される様、積極的に働きかける。

【6】本事業の組織運営体制



本事業は、プログラム実施主体により「体験学習フェスティバル八王子 2017 実行委員会」を構成し、事業全体の運営を行う。ただし、プログラム遂行の性格上、個別プログラム実施運営については個別プログラム実施主体が責任を持って行い、実行委員会全体としては、事業コンセプトの共有、テーマの深堀り支援、参加プログラムの拡大支援、広報ツール支援、全体後方支援を中心に運営を行う。個別実施に関する運営規程については、別途定め全体会議にて共有することとする。なお、事業全体の事務局は、公益社団法人八王子観光協会が担う。

①全体会議

月に一度の頻度で、全体会議を開催する。全体の事業課題を事務局が情報整理して、事前に議題提示をして全体会議を開催する。

②テーマ委員会

テーマごとに実行委員会関係者が集まっていたり、随時、テーマの進化、仲間の拡大、内容の向上、日程調整、地域連携等について議論し、共有・協働関係を構築する。

③広報委員会

広報に関連するメンバーがスキルを持ち寄って、実行委員会推進における広報課題を整理し、必要とされる広報ツールの制作、配布、連携協力などの活動を推進する。

④コア会議

会長、副会長、アドバイザーとテーマ毎のグループ・リーダー出席のもと、コア会議を適時開催する。

【7】事業予算

八王子の補助金規定に基づき、補助金上限 350 万円（事業費の 2 / 3 を市が補助）を活用して事業費を構築する。八王子の補助金を踏まえて民間協賛資金を集積させる（補助金満額を想定して、最低 200 万円相当の資金収集に努める）。民間協賛資金は、2016 年度の実績を踏まえつつ、幅広い協力対象へのアプローチに挑戦して事業実施予算の拡大に取り組む。

《実施に関する費用項目》（特別な活動以外は、実行委員会メンバーで実施する）

- | |
|---|
| 1. 「全体会議」と「コア会議」及び「テーマ委員会」と「広報委員会」の実施費用
■講師謝金 ■交通費・通信費 ■会場費 ■事務局補助人件費 など |
| 2. 「総合情報展」と「オープニング式典」費用
■パネル展示費用 ■ワークショップ協力費 など |
| 3. 統一広報関係費用
■「統一ポスター」や「テーマ映像」等の制作と印刷費 ■「統一ホームページ」の制作と運営費
■「統一ガイドブック」の制作と印刷費 ■アンケート制作と印刷及び集計分析費 など |
| 4. シンポジウム形式の総括会議の実施費用
■モデレーターやパネラー参加者の講師料と交通費 ■総括報告書作成費 など |

【8】全体事業スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実行委員会／コア会議 (毎月開催予定)	○	○	○	○	○	○	○	○
テーマ委員会		○	○	○	○	○	○	○
広報委員会		○ 実施計画 の構築	○ 基本情報 の確定	○ 各種制作 プロセス	○ 実施 タイミング	○ 実施	○ 総括	○ フォロー
総合情報展& オープニング式典	基本計画 の構築	実施計画 の構築	実施体制 の構築		● 実施			
プログラム実施月間	基本計画 の承認	実施計画 の承認	全体プロ グラムの 集約	カタログ等 広報ツ ールの制作	プレイベ ント等 の実施	● 実施	総括	
シンポジウム形 式の総括会議	基本計画 へのアプ ローチ	基本計画 の策定	実施計画 の策定	実施運 営体制 の構築	準備	準備	準備	● 実施